

全国学校ギター合奏コンクール2016 審査講評

7. 神奈川県立上溝南高等学校ギターアンサンブル部

課題曲 Spring 1 “In the foresto”/竹内 淳<指揮/木村晴美>

自由曲 歌劇「はかなき人生」よりスペイン舞曲第1番/M. ファリャ(小林徹編)<指揮/木村晴美>

| 審査員名 | 課題曲 | 自由曲 |
|------|--|--|
| 有馬 | 私は個人的見解で済みませんが、純粹の日本人なのであまり英語が得意ではありません。スプリング1.インザフォレストの微妙な意味がよく理解できないのですが音楽の中に表現されたことばのイミをととも分かり易く表現されていると思いました。あなた方のおかげです。音楽が世界共通語であることを思い知らされました。 | スペインの曲は3拍子系のものが多いですが一種独特のニュアンスを持っています。それがちょっともの足りない感じはしました。優しすぎるのです。もっと激しいもの、もっと熱いもの、もっと情的なもの人間のゴウのようなものを感じさせる何かがあります。ととても安らぎはありますが、ファリャの曲はもっと激しいです。 |
| 小胎 | バランス良 ダイナミックの巾がもう少し欲しい | 中間部が聴こえにくい 音色△ |
| 小林 | パート間のうけ渡し フレージング自然で良い。エンディングのffが音量不足を感じた。もっとしっかりと | 低音部がもっと前に出てリズム・アクセントをしっかりと表現出来たら情熱的な演奏になると思う。人数の割に音量がもう少し ガンバレ。しっかりと演奏だけにおいしい。 |
| 富田 | アナリーゼやや不足とみたが、よい演奏でした。指揮◎花丸 | スペインのアピール不足です。もっと「らしく」というかくささという感じ おとなしすぎるようです。皆もえてるかい!!!スペインの太陽はまっ赤だ。 |
| 竹内 | 傾向として内声がかつきりしているのは良いが、他の声部とのバランスを崩す時もある。たとえばAlto1よりALTO2が大きく感じるとか。品よくまとまっているところに好感をもった。Last、4回あるコーダテーマのうたい方を最後に向けて一工夫ほしかった。 | 3拍子としての、そしてスペイン的スタイルとしての揺れ方が後半に向けて徐々によくなっていった。後半20小節くらいの感じ方が冒頭からであると良かった。アンサンブルとしての響きは優れてまとまっていた。 |
| 長尾 | 和声の変化が明瞭、リズムが軽快、アルトの音色がきれい。体でリズムをとりながら楽しさが伝わる演奏。ギターがもう1本欲しい。 | 旋律のうたわせ方もっと緻密に。スペイン的なドロ臭さと、深い情熱をこもごもに織りなすことを追及すること。アゴーギクもっとオーバーにしてみてもは。 |

【問い合わせ先】

全国学校ギター合奏コンクール2015開催事務局(現代ギター社内)
Mail : jsgec@jsgec.net